

第2回 滝川市保健医療福祉推進市民会議（委員意見及び回答）

委員意見	回答
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	
第1部 総論 第2章 滝川市を取り巻く現状 2 高齢者等の現状と将来推計 (1) 高齢者人口・世帯の推移 (2) 要介護・要支援認定者数の推移 令和5年度と令和8年度を比べると、後期高齢者は10%増ですが、要介護認定者数は約5%増となっています。介護予防の効果を見込んでものと思いますが、どのような考え方で算定されたのでしょうか？	75歳以上の後期高齢者については、令和5年度7,568人から令和8年度は8,165人と597人(約7.9%)増加すると見込まれており、要介護認定者については、令和5年度2,394人から令和8年度2,506人と112人(約4.7%)増加すると見込まれているところです。 要介護等認定者数の将来動向については、令和5年度10月時点における性別・年齢別被保険者数に占める要支援・要介護度別認定者数の比率(認定者の出現率)を求め、将来見込まれる性別・年齢別被保険者数に乗じることにより、推計したのになっています。そのため、例えば、いきいき百歳体操等の介護予防事業を定期的に開催していることにより、認定者数が〇%減少を見込む等の介護予防の効果を含む推計はしていませんのでご理解いただきますようお願いいたします。
健康たしかわ21アクションプラン	
広く、早い年齢層から、この様な第3次健康アクションプランがあり、早期の病気等の予防が有るという事を広報を通し、役所の中だけでなく、市民に覚えてもらう事が大事だと思う。 誰にでもわかりやすく、毎月、課題を決め、予防することの大切さを健康寿命を延ばす事の取組をお願いしたい。	第3次健康たしかわ21アクションプランを市民の皆さんにご理解いただき、自分にあった健康づくりに取り組んでいただくためには、ご意見のとおり市民のみなさまへの周知が最も重要です。そのため、広報、市ホームページのほか、市民向け概要版の配布により周知に努めます。 また、月ごとに設定されている健康週間(例：5月世界禁煙デーに合わせた受動喫煙防止、6月むし歯予防デー、9月健康増進月間に合わせた生活習慣病予防、自殺予防週間に合わせた心の健康、11月いい歯の日に合わせた歯の健康について等)や、がん検診等各種保健事業の開催に合わせてテーマを設定し、市役所、図書館等での展示、各種保健事業やFM中空知を通じた呼びかけ等啓発活動を進めてまいります。